

# 令和5年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-6

	実施方針	目標	具体的な取り組み
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者と共に誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らすことできる体制を整えます。	協力事業者や民生委員等と顔の見える関係づくりに努め、課題を抱える高齢者の早期発見、情報の共有化を図る。 ①川根地区見守りネットワーク連絡会：年1回 ②民生委員と包括の情報交換会：年1回 ③民生委員児童委員協議会定例会：月1回
		地域団体や地域事業所と連携し、住みやすい地域づくりを行う。	①川根地域生活支援をつなぐ会活動 ②川根小学校・中学校運営協議会および学校行事
		高齢者に留まらない地域内移動支援を第三層から提言する。	小地域ケア会議開催
	地域住民が主体的に介護予防・健康管理に取り組めるよう支援します。	しまとれの継続支援を行う。併せて健康管理を推進する。 介護予防普及啓発講座を開催し、住民の介護予防の意識を高める。	継続支援9か所（開催日参加により健康管理の推進） 介護予防普及啓発講座：年20回 内容：高齢者の病気、認知症予防、低栄養予防、熱中症・脱水予防、口腔ケア、感染症予防等
認知症施策の推進	認知症の理解を深めるための周知・啓発活動を行い、多世代で支え合う地域づくりを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の担い手づくりに取り組む。	①認知症サポーター養成講座：年4回 ②認知症予防講座：年3回
		認知症の方を地域で支える体制・活動づくりをチームオレンジ、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターと共に行う。	①認知症キャラバンメイト連絡会：年1回 ②チームオレンジちゃのみ定例会：月1回
		認知症カフェや運営推進会議にて、認知症に関する相談支援や課題把握を行う。	①駅前お茶のみ会：月1回 ②運営推進会議：年12回
選択項目	高齢者虐待防止と成年後見制度の利用支援	高齢者を含む一つの世帯に複数の課題が存在する状況に対し、重層的支援を行います。	課題に対し専門知識を活かすため、関係機関、支援者による情報共有と協働を行い支援展開する。 ①個別ケース会議：年6回 ②小地域ケア会議：年2回
		地区の介護支援専門員や専門職同士の相互理解、知識向上に努め、連携体制を構築する。	川根地区医療・介護多職種連携連絡会：年1回（1/全3回）
	自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントの実施	介護予防事業活用後、地域参加や就労的活動へ繋がることで介護保険サービスから卒業できる。	介護予防評価時にリハアセスメントを行い、適切な目標設定とマネジメントに繋げる。 短期集中で目標達成できる介護予防事業の構築。地域参加、就労的活動メニューの提言。 地区の介護支援専門員を対象とした連絡会を企画・開催する。